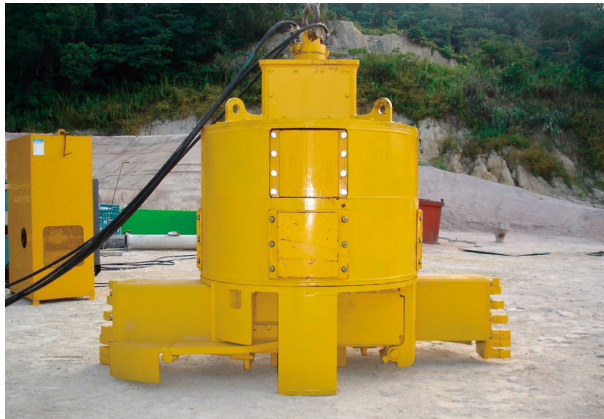


オールケーシング全周回転式場所打ちコンクリート杭  
GSB工法

GSB工法研究会

〒815-0083 福岡県福岡市南区高宮4-7-5 (株)コトブキ産業内  
TEL 092-522-2941 FAX 092-522-2931  
URL https://www.gsb.jp.net/pc/  
mail HP内問い合わせフォーム有り



GSBバケット



φ1500mm～φ2500mm

概要

GSB工法とは、全周回転掘削機により掘削した場所打ちコンクリート杭の掘削孔の先端部を、GSBバケットを用いて拡底掘削し、傾斜角12度以内の拡底杭を築造する工法であり、杭の支持力を確保したまま本数を軽減し効率化を図ることができる。

特長

1. 非常に硬質な岩を拡大掘削可能

適用地盤はN値50以上の岩層とし、国土交通省土木事共通用仕様書に定める土および岩の分類書による軟岩および中硬岩の範囲になる。

2. 最大拡底径φ3000mm、最大傾斜角12度の築造が可能

ケーシング外面からGSBバケットのアームを最大500mm伸張できるので、最大拡底径はケーシング径+1000mmとなる。ケーシングの押し込み量とアームの伸縮量を1cm単位で管理できるため、最大傾斜角12度の傾斜部の築造が可能となる。

3. 掘削土は一般土としてリサイクル可能

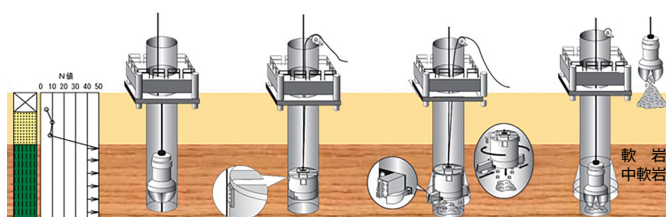
GSBバケットのアームに付帯する集土ブレードは、拡底掘削土を中心部に集める機能を持ち、集まった掘削土はハンマーグラブとGSB底ざらいバケットにより排土される。

4. 軸部径と拡底径について

軸部径φ1500mm・φ1600mm・φ1800mm・φ2000mmの4つの径に対して、+900mmを上限とした有効拡底径および、+1000mmを上限とした拡底施工径を定めている。

施工手順

- ①軸部掘削 ②GSBバケットセット ③拡底部掘削 ④排土・掘削完了



拡底掘削方法



●GSBアーム伸縮操作装置

地上にて操作を行う。  
右のレバーはホースリール用、  
中央のレバーはグリッパー用、  
左のレバーはアーム用である。  
グリッパーの張り出しについては抵抗値を参考にする。



●GSBアーム伸縮量表示装置

GSBアームの伸縮量をcm単位で表示する。  
レバーを前に押しとアームが伸張し、  
その数値がcm単位で表示される。  
レバーを手前に引くとアームが縮小し、  
そのときの数値もcm単位で表示される。

